

偽滿
洲國
政府
公報

康德四年五月

康德四年五月

偽滿洲國政府公報

第三十四冊

遼瀋書社

一九九〇年・瀋陽

二 欲擴張或變更生產設備時
三 欲轉讓事業之全部或一部時
四 法人欲合併時

第六條 經營重要業者於左列情形應即呈報主管部大臣
一 發生或休歇時
二 法人解散時

第七條 經營重要業者違反本法或根據本法所發之命令或違反根據本法或命令所
爲之處分時主管部大臣得撤銷第一條之許可

第八條 未受主管部大臣許可而經營重要業者處五百圓以下之罰金

第九條 經營重要業者有左列各款情形之一時處一千圓以下之罰金
一 違反第五條規定時
二 違反第三條規定之主管部大臣命令時

第十條 不爲依第四條規定所命之報告或爲虛偽之報告或拒絕、妨礙或迴避該條之
檢查者處三百圓以下之罰金

第十一條 違反第二條或第六條之規定者處一百圓以下之罰金

第十二條 使用人及其他從業員關於本人之業務有欺騙本法罰則之行為時除罰該行
爲人外該處罰本人但本人如係心神喪失人或關於營業未具有與成年人同一能力之
未成年入時則處罰其法定代理人

第十三條 法人之使用人及其他從業員關於法人之業務有欺騙本法罰則之行為時除
罰該行爲人外該處罰執行業務之股東或職員

執行法人業務之股東或職員有前項之行為時處罰該股東或職員

第十四條 於第十二條及前條第一項情形如應處罰之本人、法定代理人、股東或
職員證明其對於各該違反行為無法防止時則不罰之

附 則
本法自康德四年五月十日施行

本法施行之際未受主管部大臣許可現爲營業業者則視爲依本法已受許可者

本法施行之際未受主管部大臣許可現爲營業業者應自本法施行之日起六十日以内依本

法施行之際未受主管部大臣許可現爲營業業者應自本法施行之日起六十日以内依本

法施行之際未受主管部大臣許可現爲營業業者應自本法施行之日起六十日以内依本

二 生產設備擴張又ハ變更セントスルトキ
三 事業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡セントスルトキ
四 法人ナル場合ニ於テ合併ヲ爲サントスルトキ

第六條 重要産業ヲ營ム者左ノ場合ニ於テハ規程ヲ定メテ主管部大臣ノ届出ヲ受
シ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタルトキ
二 法人ナル場合ニ於テ解散ヲ爲シタルトキ

第七條 重要産業ヲ營ム者本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ發ス
處分ニ違反シタルトキハ主管部大臣ハ第一條ノ許可ヲ取消スコトヲ得
主管部大臣ノ許可ヲ受ケズシテ重要産業ヲ營ミタル者ハ五千圓以下ノ罰
金ニ處ス

第九條 重要産業ヲ營ム者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第三條ノ規定ニ依ル主管部大臣ノ命令ニ違反シタルトキ
二 第五條ノ規定ニ違反シタルトキ

第十條 第四條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又
ハ同條ノ檢查ヲ拒ミ、妨ダ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 第二條又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 使用人其他ノ從業員本人ノ業務ニ關シ本法ノ罰則ニ觸ルル行爲ヲ爲
シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外本人ヲモ處罰ス但シ本人心神喪失者又ハ營
業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ
處罰ス

第十三條 法人ノ使用人其他ノ從業員法人ノ業務ニ關シ本法ノ罰則ニ觸ルル行
爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外業務ヲ執行スル社員又ハ職員ヲモ處
罰ス

法人ノ業務ヲ執行スル社員又ハ職員有前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ社員又ハ
職員ヲ處罰ス

第十四條 第十二條及前條第一項ノ場合ニ於テ處罰ヲ受ケベキ本人、法定代理人、
社員又ハ職員當該違反行為ヲ防止スル途ナカリシコトヲ證明シタルトキハ之ヲ
罰セズ

附 則
本法ハ康德四年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行之際既ニ主管部大臣ノ許可ヲ受ケ現ニ營業スル者ハ本法ニ依リ許可ヲ受
ケタルモノト看做ス

本法施行之際未受主管部大臣ノ許可ナクシテ現ニ營業スル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十

日以内依本法施行之際未受主管部大臣ノ許可ナクシテ現ニ營業スル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十

日以内依本法施行之際未受主管部大臣ノ許可ナクシテ現ニ營業スル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十

日以内依本法施行之際未受主管部大臣ノ許可ナクシテ現ニ營業スル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十

法爲許可之事情

且以前項之申請者於受該許可以前仍得照舊營業

朕經諮詢參議府裁可關於施行重要產業統制法之件著即公布

御名御璽

庚德四年五月一日

國務總理大臣	張景惠
實業部大臣	丁鑑修
蒙政部大臣	齊默特色木丕勒
軍政部大臣	于芷山
財政部大臣	孫其昌

勅令第六十七號

關於施行重要產業統制法之件

第一條 依重要產業統制法第一條第一項規定之重要產業如左

- 兵器製造業
- 航空機製造業
- 自動車製造業
- 液體燃料（礦油及無水酒精）製造業
- 鹽、銅、鐵、鉛、亞鉛、金、銀及銅之精鍊業（除金及銀之濕式精鍊）
- 炭礦（除年產五萬噸未滿者）業
- 毛織物製造業（除用手織機者）
- 綿糸紡績業
- 綿織物製造業（除用手織機者）
- 麻製絲業（年產五十噸以上者）
- 麻紡織業（除用手織機者）
- 製粉業（日產能力五百袋以上者）
- 麥酒製造業
- 製糖業
- 製草製造業（紙卷煙草年有一千萬支以上之生產者）
- 青連製造業（除天然青連精製業）

政府公報 第九百二十四號 庚德四年五月一日 星期一

日內ニ本法ニ依ル許可ノ申請ヲ爲スベシ

前項ノ申請ヲ爲シタル者ハ其ノ許可ヲ受クル迄ノ間仍從前通營業スルコトヲ得

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ重要產業統制法施行ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

庚德四年五月一日

國務總理大臣	張景惠
實業部大臣	丁鑑修
蒙政部大臣	齊默特色木丕勒
軍政部大臣	于芷山
財政部大臣	孫其昌

勅令第六十七號

重要產業統制法施行ニ關スル件

第一條 重要產業統制法第一條第二項ノ規定ニ依ル重要產業ハ左ノ通トス

- 兵器製造業
- 航空機製造業
- 自動車製造業
- 液體燃料（礦油及無水アルコール）製造業
- 鹽、銅、アルミニウム、マグネシウム、鉛、亞鉛、金、銀及銅ノ精鍊業（金及銀ノ濕式精鍊ヲ除ク）
- 炭礦（年產五萬噸未滿ノモノヲ除ク）業
- 毛織物製造業（手織機ニ依ルモノヲ除ク）
- 綿糸紡績業
- 綿織物製造業（手織機ニ依ルモノヲ除ク）
- 麻製絲業（年產五十噸以上ノモノ）
- 麻紡織業（手織機ニ依ルモノヲ除ク）
- 製粉業（日產能力五百袋以上ノモノ）
- 麥酒製造業
- 製糖業
- 製草製造業（紙卷煙草年一千万本以上ノ生産ヲ爲スモノ）
- 青連製造業（天然青連ノ精製業ヲ除ク）

肥料(硫酸銨、硝酸銨、過磷酸石灰及石灰氮素)製造業

巴爾普(製紙原料)製造業

油房業(設有抽出式及壓搾器十五臺以上者)

洋灰製造業

火柴製造業

第二條 重要産業統制法中所稱主管部大臣者關於兵器製造業及航空機製造業則爲實業部大臣(在蒙政部管内爲蒙政部大臣)及軍政部大臣、關於液體燃料製造業及火柴製造業則爲實業部大臣(在蒙政部管内爲蒙政部大臣)及財政部大臣、關於其他産業則爲實業部大臣(在蒙政部管内爲蒙政部大臣)

第三條 實業部大臣(在蒙政部管内爲蒙政部大臣)關於兵器製造業依重要産業統制法第四條規定欲徵取報告或令爲檢查時應預先與軍政部大臣協議

附則
本令自重要産業統制法施行日施行

部 令

實業部 第二十二號
蒙政部 第十七號
軍政部 第二十二號
財政部 第二十一號

茲制定重要産業統制法施行規則如左

康德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修
蒙政部大臣 齊 默 特色 木 不 勒
軍政部大臣 于 芷 山
財政部大臣 孫 其 昌

重要産業統制法施行規則

第一條 重要産業統制法第一條之許可呈請書須記載左列事項

一 姓名或名稱及營業所之位置

二 工場之位置

肥料(硫酸アムモニウム、硝酸アムモニウム、過磷酸石灰及石灰氮素)製造業

バルプ製造業

油房業(抽出式ノモノ及壓搾器十五臺以上ヲ具フルモノ)

セメント製造業

燐寸製造業

第二條 重要産業統制法中主管部大臣ト稱スルハ兵器製造業及航空機製造業ニ付テハ實業部大臣(蒙政部管内ニ在リテハ蒙政部長大臣)及軍政部長大臣、液體燃料製造業及燐寸製造業ニ付テハ實業部大臣(蒙政部管内ニ在リテハ蒙政部長大臣)及財政部大臣トシ其ノ他ノ産業ニ付テハ實業部大臣(蒙政部管内ニ在リテハ蒙政部長大臣)トス

第三條 實業部大臣(蒙政部管内ニ在リテハ蒙政部長大臣)兵器製造業ニ付重要産業統制法第四條ノ規定ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ檢查ヲ爲シメントストキハ蒙政部長大臣ニ協議スベシ

附則
本令ハ重要産業統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

部 令

實業部 第二十二號
蒙政部 第十七號
軍政部 第二十二號
財政部 第二十一號

茲ニ重要産業統制法施行規則ヲ左ノ通制定ス

康德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修
蒙政部大臣 齊 默 特色 木 不 勒
軍政部大臣 于 芷 山
財政部大臣 孫 其 昌

重要産業統制法施行規則

第一條 重要産業統制法第一條ノ許可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 氏名又ハ名稱及營業所ノ位置

二 工場ノ位置

三 重要産業之種類

- 四 主要生産設備、生産能力及生産方法
- 五 所需資金及資金籌辦之方法
- 六 一年間之生産、販賣及使用原材料之預計額（各種類分別記其數量及價額）
- 七 原材料之取得方法
- 八 事業年度及收支概算

前項之申請書如呈請人爲法人之發起人時須附具章程爲法人時期須附具章程、貸借對照表及財產目錄

第二條 重要産業業者欲變更前條第一項第二或第四款或第七款之事項時須受主幹部大臣許可

第三條 受到重要産業統制法第一條之許可者遇有左列情事時須從速呈報主幹部大臣

- 一 生産設備已完了時
- 二 已著手生産時
- 三 姓名或名稱或營業所已變更時
- 四 發起人已設立法人時

第四條 重要産業統制法第二條之事業計畫書須記載左列事項於每種事業年度開始前提出之

- 一 關於生産、販賣、購買、調査及其他施設之計畫
- 二 如爲法人時其重要之資金計畫
- 三 生産額、販賣額、原材料之購買額及使用額（按種類分別記其數量及價額）
- 四 如有統制協定時其事業計畫與統制協定之關係

第五條 重要産業統制法第二條之事業報告書須記明前條第一款至第三款之事業計畫實施經過如經營重要産業業者爲法人時該須附具貸借對照表及財產目錄於每種事業年度經過後從速提出之

第六條 應依重要産業統制法第五條第一款受許可之統制協定如左

- 一 關於生産之協定
- 二 關於販賣之協定
- 三 關於購買原材料之協定

第七條 重要産業統制法第五條第一款之許可申請書須記載産業之種類、協定事項及統制之組織附具協定書之抄本

第八條 重要産業統制法第五條第一款之許可申請書須記載擴張或變更之生産設備及擴張或變更後之生産能力

三 重要産業ノ種類

- 四 主要生産設備、生産能力及生産方法
- 五 所要資金及資金調達ノ方法
- 六 一箇年ノ生産、販賣及使用原材料ノ見込高（種類別數量及價額）
- 七 原材料ノ取得方法
- 八 事業年度及收支概算

前項ノ申請書ニハ申請者法人ノ發起人ナル場合ニ在リテハ定款ヲ法人ナル場合ニ在リテハ定款、貸借對照表及財產目錄ヲ添附スベシ

第二條 重要産業ヲ營ム者前條第一項第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ主幹部大臣ノ許可ヲ受ケル者左ノ場合ニ在リテハ遲滞ナク之ヲ主幹部大臣ニ届出ツベシ

第三條 重要産業統制法第一條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ場合ニ在リテハ遲滞ナク之ヲ主幹部大臣ニ届出ツベシ

- 一 生産設備完了シタルトキ
- 二 生産著手シタルトキ
- 三 氏名若ハ名稱又ハ營業所ヲ變更シタルトキ
- 四 發起人法人ヲ設立シタルトキ

第四條 重要産業統制法第二條ノ事業計畫書ニハ左ノ事項ヲ記載シ每事業年度開始前之ヲ提出スベシ

- 一 生産、販賣、購買、調査及研究其ノ他ノ施設ニ關スル計畫
- 二 法人ナル場合ニ在リテハ重要ナル資金計畫
- 三 生産高、販賣高、原材料ノ購買額及使用高（種類別數量及價額）
- 四 統制協定アル場合ハ事業計畫ト統制協定トノ關係

第五條 重要産業統制法第二條ノ事業報告書ニハ前條第一號乃至第三號ノ事業計畫實施ノ經過ヲ記載シ重要産業ヲ營ム者法人ナル場合ニ在リテハ貸借對照表及財產目錄ヲ添附シ每事業年度經過後從速提出スベシ

第六條 重要産業統制法第五條第一號ニ依リ許可ヲ受ケベキ統制協定者ノ如シ

- 一 生産ニ關スル協定
- 二 販賣ニ關スル協定
- 三 原材料ノ購買ニ關スル協定

第七條 重要産業統制法第五條第一款ノ許可申請書ニハ産業ノ種類、協定事項及統制ノ組織ヲ記載シ協定書ノ寫ヲ添附スベシ

第八條 重要産業統制法第五條第二號ノ許可申請書ニハ擴張又ハ變更セントスル生産設備及擴張又ハ變更後ニ於ケル生産能力ヲ記載スベシ

第九條 重要産業統制法第五條第三款之許可申請書須記明欲讓渡之事業、其生產設備及生產能力由當事人填寫而提出之

前項之申請書ハ讓渡契約書ノ寫及讓受人法人トル場合ニ在リテハ定款、貸借對照表及財産目錄ヲ添附スベシ

讓受人ハ事業ノ讓受及經營ニ要スル資金及資金調達ノ方法並ニ事業讓受後ニ於ケル生産能力ヲ記載シテ書面ヲ提出スベシ

第十條 重要産業統制法第五條第四款之許可申請書ハ合併ニ依リテ新ニ法人ヲ設立シタル場合ニ在リテハ發起人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ合併後存續スベキ法人ノ代表者ヨリ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請書ハ合併契約書ノ寫及合併ニ依リテ新ニ法人ヲ設立セントスル場合ニ在リテハ定款ヲ其ノ他ノ場合ニ在リテハ定款、貸借對照表及財産目錄ヲ添附スベシ

第十一條 重要産業統制法第六條第一款之呈報書須記載已休或廢止之事業、其生產設備及生產能力如係休止時該須附記休止之期間

前項之呈報書須附具合併契約書之抄本如因合併而新設立法人時該須附具章程其條時該須附具章程、貸借對照表及財産目錄

第十二條 經營重要産業者之繼承人欲繼承被繼承人之事業時須於繼承開始之日起三月以內附具證明其爲繼承人之書面呈請重要産業統制法第一條之許可繼承人有數人時須由其中之一人呈請之此時應附具其他繼承人關於此之同意書

前項之呈請得省略第一條第一項各款之記載事項

繼承人已爲第一項之呈請時在准駁決定以前得經營被繼承人之事業

第十三條 在左列各業時應向主管大臣提出之書面除重要産業統制法第五條第一款之呈請書外須經由主要營業所在地之省長或特別市長提出之

- 一 毛織物製造業
- 二 綿絲紡績業
- 三 絲織物製造業
- 四 麻製絲業
- 五 麻紡績業
- 六 製粉業
- 七 麥酒製造業
- 八 製糖業
- 九 皮革製造業

第九條 重要産業統制法第五條第三款之許可申請書ニハ讓渡セントスル事業、其ノ生産設備及生産能力ヲ記載シテ當事者連署ノ上之ヲ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ讓渡契約書ノ寫及讓受人法人トル場合ニ在リテハ定款、貸借對照表及財産目錄ヲ添附スベシ

讓受人ハ事業ノ讓受及經營ニ要スル資金及資金調達ノ方法並ニ事業讓受後ニ於ケル生産能力ヲ記載シテ書面ヲ提出スベシ

第十條 重要産業統制法第五條第四款之許可申請書ハ合併ニ依リテ新ニ法人ヲ設立シタル場合ニ在リテハ發起人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ合併後存續スベキ法人ノ代表者ヨリ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請書ハ合併契約書ノ寫及合併ニ依リテ新ニ法人ヲ設立セントスル場合ニ在リテハ定款ヲ其ノ他ノ場合ニ在リテハ定款、貸借對照表及財産目錄ヲ添附スベシ

第十一條 重要産業統制法第六條第一款ノ届出書ニハ休又ハ廢止シタル事業、其ノ生産設備及生産能力ヲ記載シテ休止ノ場合ニ在リテハ休止ノ期間ヲ附記スベシ

第十二條 重要産業ヲ營ム者ノ相續人被相續人ノ事業ヲ承繼セントスルトキハ相續開始ノ日ヨリ三月以內相續人タルコトヲ證スル書面ヲ添へ重要産業統制法第一條ノ許可申請書ニ相續人數人アル場合ハ其ノ内ノ一人ニ於テ申請スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ他ノ相續人ノ之ニ關スル同意書ヲ添附スベシ

前項ノ申請書ハ第一條第一項各款ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得

相續人第一項ノ申請ヲ爲シタルトキハ許可決定アル迄ハ被相續人ノ事業ヲ營ムコトヲ得

第十三條 左ノ各業ニ在リテハ主管大臣ニ提出スベキ書面ハ重要産業統制法第五條第一款ノ申請書ヲ除キ主タル營業所在地之省長又ハ特別市長ヲ經由スベシ

- 一 毛織物製造業
- 二 綿絲紡績業
- 三 絲織物製造業
- 四 麻製絲業
- 五 麻紡績業
- 六 製粉業
- 七 麥酒製造業
- 八 製糖業
- 九 皮革製造業

十四 飼料製造業

十一 油房業

在右列各業時應向主管部大臣提出之書面係重要産業統制法第五條第一項之呈請書外須經山縣警察官長(在蒙政部管内爲省長)提出之

一 作爲採掘礦物之附屬事業而經營之鑛油製造業

二 炭礦業

三 作爲採掘礦物之附屬事業而經營之煤、銅、鉛、鐵、鋅、亞鉛、金、銀及銅之精煉業

四 作爲採掘礦物之附屬事業而經營之肥料製造業

附則

本令自重要産業統制法施行日施行
合於重要産業統制法附則第二項者須自本令施行之日起六十日以内提出第四條之事業計畫書

依重要産業統制法附則第三項呈請許可者須於許可呈請書上附具第四條之事業計畫書

訓令

實業部訓令第一三四號

新京
奉天鑛業監督官長
承德

關於重要産業統制法施行之件
爲訓令事關於重要産業統制法及該法施行規則應照左列辦理此令

計開

第一條 受理依重要産業統制法及重要産業統制法施行規則之許可呈請書或呈報書時須從速轉報實業部大臣

第二條 關於依重要産業統制法或重要産業統制法施行規則應經實業部大臣許可之事項須於許可後將該項事業案之認可或續業權或租讓權轉移之登錄

第三條 轉呈左列書面時須附具意見書

一 重要産業統制法第一條之許可呈請書

二 重要産業統制法第五條第一項至第四款之許可呈請書

三 重要産業統制法施行規則第二條之許可呈請書

十六 肥料製造業

十七 油房業

左ノ產業ニ在リテハ主管部大臣ニ提出スベキ書面ハ重要産業統制法第五條第一號ノ申請書ヲ除キ鑛業監督官長(蒙政部管内ニ在リテハ省長)ヲ經由スベシ

一 礦物採掘ノ附屬事業トシテ鑛油製造業

二 炭礦業

三 礦物採掘ノ附屬事業トシテ營ム煤、銅、アルミニウム、マグネシウム、鉛、亞鉛、金、銀及銅ノ精煉業

四 礦物採掘ノ附屬事業トシテ營ム肥料製造業

附則

本令ハ重要産業統制法施行日ヨリ之ヲ施行ス
重要産業統制法附則第二項ニ該當スル者ハ本令施行日ヨリ六十日以内ニ第四條ノ事業計畫書ヲ提出スベシ

重要産業統制法附則第三項ニヨリ許可ヲ申請セントスル者ハ許可申請書ニ第四條ノ事業計畫書ヲ添附スベシ

訓令

實業部訓令第一三四號

新京
奉天鑛業監督官長ニ令ス
承德

重要産業統制法及重要産業統制法施行規則施行ニ關シ取扱方左ノ通定ム

記

第一條 重要産業統制法及重要産業統制法施行規則ニ依リ許可申請書又ハ届出書ヲ受理セントキハ遲滞ナク之ヲ實業部大臣ニ進達スベシ

第二條 重要産業統制法又ハ重要産業統制法施行規則ニ依リ實業部大臣ノ許可ヲ經ベキ事項ニ付テハ許可アリタル後該項事業案ノ認可又ハ續業權若ハ租讓權轉移ノ登錄ヲ爲スベシ

第三條 左ノ書面ヲ進達セントスルトキハ意見書ヲ添附スベシ

一 重要産業統制法第一條ノ許可申請書

二 重要産業統制法第五條第一項至第四款ノ許可申請書

三 重要産業統制法施行規則第二條ノ許可申請書

第四條 欲轉呈重要産業統制法施行規則第三條第一款或第二款之呈報書時須調查事實附具其報告書
廣德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修

實業部 勅令第一三五號
農政部 勅令第一九四之二號

令 各特別市長

關於重要産業統制法施行之件
爲訓令事關於重要産業統制法及該法施行規則應照左列辦理此令

計 開

- 第一條 受理依重要産業統制法及重要産業統制法施行規則之許可呈請書或呈報書時須從速轉呈實業部大臣
- 第二條 欲轉呈左列書面時須附具意見書
 - 一 重要産業統制法第一條之許可呈請書
 - 二 重要産業統制法第五條第二款至第四款之許可呈請書
 - 三 重要産業統制法施行規則第二條之許可呈請書
- 第三條 欲轉呈重要産業統制法施行規則第三條第一款或第二款之呈報書時須調查事實附具其報告書
廣德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修
農政部大臣 齊默特色木不動

佈 告

宮内府佈告第二號

四月二十九日

皇帝陛下臨幸關東軍司令官全權大使官邸特此佈告

廣德四年五月一日

宮内府大臣 照 洽

第四條 重要産業統制法施行規則第三條第一號又ハ第二號ノ届出書ヲ進達セントスルトキハ事實ヲ調査シ其ノ報告書ヲ添附スベシ
廣德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修

實業部 勅令第一三五號
農政部 勅令第一九四之二號

令 各特別市長

重要産業統制法施行ニ關スル件
重要産業統制法及重要産業統制法施行規則施行ニ關シ取換方左ノ通定ム

記

- 第一條 重要産業統制法及重要産業統制法施行規則ニ依ル許可申請書又ハ届出書ヲ受理シタルトキハ遲滞ナク之ヲ實業部大臣ニ進達スベシ
- 第二條 左ノ書面ヲ進達セントスルトキハ意見書ヲ添附スベシ
 - 一 重要産業統制法第一條ノ許可申請書
 - 二 重要産業統制法第五條第二號乃至第四號ノ許可申請書
 - 三 重要産業統制法施行規則第二條ノ許可申請書
- 第三條 重要産業統制法施行規則第三條第一號又ハ第二號ノ届出書ヲ進達セントスルトキハ事實ヲ調査シ其ノ報告書ヲ添附スベシ
廣德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修
農政部大臣 齊默特色木不動

佈 告

宮内府佈告第二號

四月二十九日

皇帝陛下ニハ關東軍司令官全權大使官邸ニ臨幸アラセラレタリ

廣德四年五月一日

宮内府大臣 照 洽

地籍整理局佈告第一〇號

關於土地審定開始之作

依土地審定法第二條及同法第三條之規定決定審定地域、審定開始日期及申報期間如左各行佈告周知此佈

康德四年五月一日

計開

地籍整理局長 壽 幸 彰

地籍整理局佈告第一〇號

土地審定開始ニ關スル件

土地審定法第二條及同法第三條ノ規定ニ依リ審定地域、審定開始期日及申告期間ヲ左ノ規定ヲテ付シテ佈告シテ周知セシム

康德四年五月一日

記

地籍整理局長 壽 幸 彰

審定地域	審定開始(期)日	(申告)期間
津島縣 第一區西三里莊村內(齊巴家園子村) 巴家園子、齊家園子、馬家園子、小 打白、東家園子、東家園子、西小 家園子、東家園子、東八里莊、腰 屯、寧家園子、顧家園子、孫家園子	康德四年五月一日	自康德四年五月十日起

實業部 第二號
財政部 第四號

關於「關於重要產業統制法施行之件」(勅令第六十七號) 第一條所載重要產業之件

爲佈告事茲關於「關於重要產業統制法施行之件」(勅令第六十七號) 第一條之重要產業如左公布之仰即週知此佈

一 自動車製造業係指自動車組構業及車台車體發動機皮輪等自動車部分品製造業而言

二 液體燃料中之無水酒精係指純度九八%以上之酒精而言

三 製粉業係指小麥粉製粉業而言其每袋之純重定爲二石(新制秤四四斤)

四 青連製糖業係指青連灰或苛性青連製糖業而言

五 油房業係指大豆油蓖麻子油蘇子油等製油業而言

實業部大臣 丁 鑑 修
財政部大臣 齊 默 特色 木 不 勳
孫 其 昌

實業部 第二號
財政部 第四號

重要產業統制法施行ニ關スル件(勅令第六十七號) 第一條ノ重要產業ニ關シ左ノ通佈告ス

一 自動車製造業トハ自動車組立業及車臺、車體、發動機、タイヤ等ノ自動車部分品製造業ヲ謂フ

二 液體燃料中無水アルコールハ純度九八%以上ノアルコールヲ謂フ

三 製粉業トハ小麥粉製糖業ヲ謂ヒ一袋ハ正味二石(新制秤四四斤)入ノモノトス

四 青連製糖業トハ青連灰又ハ苛性青連製糖業ヲ謂フ

五 油房業トハ大豆油、蓖麻子油、蘇子油等ノ製油業ヲ謂フ

康德四年五月一日

實業部大臣 丁 鑑 修
財政部大臣 齊 默 特色 木 不 勳
孫 其 昌

交通部第一二二號

交通部通告第一二二號
為佈告事茲為蘇庫島港開港紀念起見按左列各項使用特殊通信日戳此佈
民國四年五月一日

交通部大臣 李 紹 庚

一 使用局名
遼山、遼山郵局蘇庫島分室

二 使用期間及使用方法
自民國四年五月一日至同月三日除所收完納費之信函及明信片概行蓋用外併於
上記期間內及嗣後三日間凡完納費二分以上之明信片及貼足二分以上郵票之物
件請求加蓋者亦予加蓋

三 形 式 如左



交通部通告第一二二號

為佈告事茲為慶祝訪日宣詔紀念日起見按左列各項使用特殊通信日戳此佈
民國四年五月一日

交通部大臣 李 紹 庚

一 使用局名

計 開

新京、新京頭道溝、新京大同廣場、新京康德會館內、交通部內、國務院內、吉
林、延吉、敦化、琿春、龍井、圖們、四平街、開原、洮南、王爺廟、洮安、奉
天、奉天城內、錦縣、南縣中、安東、營口、承德、遼陽、鐵嶺、鞍山、哈爾濱、
哈爾濱道裏、哈爾濱道外、哈爾濱地政街、牡丹江、齊齊哈爾、黑河、海拉爾、
滿洲里、扎蘭屯、佳木斯

二 使用期間及使用方法
自民國四年五月二日至同月四日除所收完納費之信函及明信片概行蓋用外茲於

交通部通告第一二二號

蘇庫島港開港紀念ノ爲左ノ通特殊通信日附印ヲ使用ス
民國四年五月一日

交通部大臣 李 紹 庚

一 使用局名

遼山、遼山郵局蘇庫島分室

二 使用期間及使用方法
民國四年五月一日ヨリ同三日迄料金完納ノ書狀及郵便葉書ノ引受前印ニ使用ス
ルノ外右期間中及嗣後三日間料金完納ノ二分以上ノ郵便葉書及二分以上ノ郵
便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ紀念消印ノ附ニ應ズ

三 形 式 左ノ通

交通部通告第一二二號

訪日宣詔紀念日慶祝ノ爲左ノ通特殊通信日附印ヲ使用ス
民國四年五月一日

交通部大臣 李 紹 庚

一 使用局名

記

新京、新京頭道溝、新京大同廣場、新京康德會館內、交通部內、國務院內、吉
林、延吉、敦化、琿春、龍井、圖們、四平街、開原、洮南、王爺廟、洮安、奉
天、奉天城內、錦縣、南縣中、安東、營口、承德、遼陽、鐵嶺、鞍山、哈爾濱、
哈爾濱道裏、哈爾濱道外、哈爾濱地政街、牡丹江、齊齊哈爾、黑河、海拉爾、
滿洲里、扎蘭屯、佳木斯

二 使用期間及使用方法
民國四年五月二ヨリ同月四日迄料金完納ノ書狀及郵便葉書ノ引受前印ニ使用

上記期間内及嗣後三日間凡宛封表裏二分以上之明信片及貼足二分以上之郵票者
 件請求加蓋者亦予加蓋
 三 形式如左
 但局名於新京、奉天、哈爾濱市内各局使用者不區別局名統以市名表示之



スルノ外右期間中及爾後三日間料金完納ノ二分以上ノ郵便券書込二分以上ノ
 郵便切手ヲ貼附シタル物件ニ對シ紀念消印ノ貼ニ應ス
 三 形式
 左ノ通但シ新京、奉天、哈爾濱ノ市内各局使用ノモノハ局名ヲ區別セズ總テ其
 ノ市名ヲ表示ス

交通部佈告第一一三號

爲佈告事查左列郵局自康德四年五月一日移轉改稱如左此佈
 康德四年五月一日

計開

郵局名
 齊齊哈爾東門郵局

交通部大臣 李 紹 庚
 龍江省齊齊哈爾市東門城壕

交通部佈告第一一四號

爲佈告事查左列郵局自康德四年五月一日移轉如左此佈
 康德四年五月一日

計開

郵局名
 東京鐵道郵局

交通部大臣 李 紹 庚

龍江省齊齊哈爾市東門城壕
 龍江省齊齊哈爾市東門城正陽大街

交通部佈告第一一三號

爲佈告事查左列郵局自五月一日ヨリ左記郵局ヲ移轉改稱ス
 康德四年五月一日

郵局名
 齊齊哈爾南大街郵局

交通部大臣 李 紹 庚
 龍江省齊齊哈爾市南大街

交通部佈告第一一四號

爲佈告事查左列郵局自五月一日ヨリ左記郵局ヲ移轉ス
 康德四年五月一日

郵局名
 齊齊哈爾南大街郵局

交通部大臣 李 紹 庚

龍江省齊齊哈爾市南大街

任 免 及 指 敘

任陸軍軍醫少將 趙榮陞

任陸軍步兵上校 陸軍步兵中校 前田新助

任實業部理事官級委任二等 石坂弘

任(轉任)農政部長級委任三等 興安北省公署技士 金子次男

任(轉任)興安東省公署屬官級委任二等 巴彥旗屬官 鈴木源代

任(轉任)翁牛特右旗屬官級委任三等 寧城縣屬官 宮內智

任(轉任)依克明安旗屬官級委任三等 巴林右翼旗屬官 東省三

任(轉任)庫倫旗屬官級委任三等 巴林左翼旗屬官 山本五郎

任(轉任)蒙政部屬官級委任三等 奈曼旗屬官 吉武岩夫

任(轉任)興安勸業農場技士級委任三等 興安南省公署技士 久松德三郎

任(轉任)興安南省公署技士級委任三等 興安勸業改良場技士 長谷要

補步兵第十三團連長 陸軍步兵上尉 關成五

補步兵第十三團連長 陸軍步兵上尉 關成五

補步兵第十三團連長 陸軍步兵上尉 關成五

步兵第八團附 陸軍步兵中尉 于錦華

補團長監視隊附 步兵第九團附 同 景春

給二級俸 實業部理事官 石坂弘

派在實業部農務司辦事(實業部農務司勤務ヲ命ズ) 興政部長 金子次男

派在農政部長辦事(農政部長勤務ヲ命ズ) 興安東省公署屬官 鈴木源代

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 依克明安旗屬官 東省三

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 庫倫旗屬官 山本五郎

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 翁牛特右旗屬官 宮內智

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 蒙政部長 吉武岩夫

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 興安勸業農場技士 久松德三郎

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 興安南省公署技士 長谷要

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 興安南省公署技士 長谷要

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 興安南省公署技士 長谷要

派在興安東省公署民政廳辦事(興安東省公署民政廳勤務ヲ命ズ) 興安南省公署技士 長谷要

辭官照准
 康德四年四月二十七日

陸軍軍醫上尉 田 中 昌
 陸軍步兵中尉 檢 中 瑞
 陸軍軍醫少將 趙 榮 璽
 陸軍步兵上校 前 田 新 助

辭役照准
 憲即開去本官

宮廷彙報

●編 譯
 康德四年四月二十六日上午十時三十分日本陸軍少將服部兵次郎晉謁

彙報

●規 程
 ○民政部分科規程中修正
 民政部分科規程中第三條第六條及第二章之二修正如左
 (康德四年五月一日・民政部)

第三條 文書科之職掌如左
 一 關於御容及詔書事項
 二 關於法令案及其他成案文書之審查及討論事項
 三 關於部令、訓令及指令之發布事項
 四 關於文書之收發編寫及保管事項
 五 關於政府公報及其他公示事項
 六 關於會議事項
 七 關於常務事項
 八 關於各司科聯絡事項
 九 不屬他科所管事項
 第六條 資料科之職掌如左
 一 關於統計事項
 二 關於情報及資料之蒐集整理編寫及保管事項
 三 關於書籍出版物事項
 第二章之二 拓政司

因屆停年期應即開去本官
 康德四年四月二十日

陸軍步兵少校 松 本 禮 之 助
 陸軍步兵上尉 齊 藤 何 三 郎

辭官照准(依願免官)
 康德四年五月一日

陸軍砲兵上尉 張 會 友

宮廷彙報

●編 譯
 康德四年四月二十六日上午十時三十分日本陸軍少將服部兵次郎ニ謁見ヲ賜ヘリ

彙報

●規 程
 ○民政部分科規程中改正
 民政部分科規程中第三條 第六條及第二章ノ一ヲ左ノ通改正ス
 (康德四年五月一日・民政部)

第三條 文書科ハ左ノ事項ヲ掌ル
 一 御容及詔書ニ關スル事項
 二 法令案其ノ他成案文書ノ審查及供問ニ關スル事項
 三 部令、訓令及指令ノ發布ニ關スル事項
 四 文書ノ收發、編寫及保存ニ關スル事項
 五 政府公報其ノ他公示ニ關スル事項
 六 會議ニ關スル事項
 七 常直ニ關スル事項
 八 各司科ノ連絡ニ關スル事項
 九 他科ノ主管ニ屬セザル事項
 第六條 資料科ハ左ノ事項ヲ掌ル
 一 統計ニ關スル事項
 二 情報及資料ノ蒐集、整理、編寫及保管ニ關スル事項
 三 圖書及刊行物ニ關スル事項
 第二章ノ二 拓政司

第十一條之二 拓政司置左列四科

總務科

管理科

第一拓殖科

第二拓殖科

第三拓殖科

第四拓殖科

第五拓殖科

第六拓殖科

第七拓殖科

第八拓殖科

第九拓殖科

第十拓殖科

第十一拓殖科

第十二拓殖科

第十三拓殖科

第十四拓殖科

第十五拓殖科

第十六拓殖科

第十七拓殖科

第十八拓殖科

第十九拓殖科

第二十拓殖科

第十一條ノ二 拓政司ニ左ノ四科ヲ置ク

總務科

管理科

第一拓殖科

第二拓殖科

第三拓殖科

第四拓殖科

第五拓殖科

第六拓殖科

第七拓殖科

第八拓殖科

第九拓殖科

第十拓殖科

第十一拓殖科

第十二拓殖科

第十三拓殖科

第十四拓殖科

第十五拓殖科

第十六拓殖科

第十七拓殖科

第十八拓殖科

第十九拓殖科

第二十拓殖科

第十一條之三 總務科之職掌如左

一 關於拓殖移民之一般企畫及統制事項

二 關於爲拓殖移民而設立之法人及其他機關之一般監督事項

三 關於拓殖移民及拓殖地之一般調查事項

四 關於拓殖移民之統計定期報告及資料事項

五 關於預算及經理事項

六 關於各科之連絡事項

七 關於不屬於他科主管之其他事項

第十一條之四 管理科之職掌如左

一 關於拓殖移民通地之調查事項

二 關於拓殖移民地之取得事項

三 關於拓殖移民地之管理事項

四 關於拓殖移民地之處分事項

第十一條之五 第一拓殖科之職掌如左

一 關於不屬於他科主管之移民入植地之選定調查事項

二 關於前項移民之認可事項

三 關於第一項移民入植之管統指導事項

四 關於第一項移民地之設施事項

五 關於不屬於他科主管之國內移住事項

第十一條之六 第二拓殖科之職掌如左

一 關於朝鮮人移民之認可事項

二 關於前項移民之企畫及輔導事項

三 關於第一項移民之入植等統制事項

四 關於第一項移民之國內移住事項

五 關於第一項移民地之設施事項

六 關於第一項移民入植地之選定調查事項

七 關於不屬於他科主管之朝鮮人移民事項

第十一條ノ三 總務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 拓殖移民ノ一般企畫及統制ニ關スル事項

二 拓殖移民ノ爲ニ設立セラレタル法人及其ノ他ノ機關ノ一般監督ニ關スル事項

三 拓殖移民及拓殖地ノ一般調査ニ關スル事項

四 拓殖移民ノ統計定期報告及資料ニ關スル事項

五 豫算及經理ニ關スル事項

六 各科ノ連絡ニ關スル事項

七 其ノ他他科ノ主管ニ屬セザル事項

第十一條ノ四 管理科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 拓殖移民通地ノ調査ニ關スル事項

二 拓殖移民地ノ取得ニ關スル事項

三 拓殖移民地ノ管理ニ關スル事項

四 拓殖移民地ノ處分ニ關スル事項

第十一條ノ五 第一拓殖科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 他科ノ主管ニ屬セザル移民ノ入植地ノ選定調査ニ關スル事項

二 前號移民ノ認可ニ關スル事項

三 第一號移民ノ入植ノ管統指導ニ關スル事項

四 第一號移民地ノ施設ニ關スル事項

五 他科ノ主管ニ屬セザル國內移住ニ關スル事項

第十一條ノ六 第二拓殖科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 朝鮮人移民ノ認可ニ關スル事項

二 前號移民ノ企畫及輔導ニ關スル事項

三 第一號移民ノ入植ノ管統ニ關スル事項

四 第一號移民ノ國內移住ニ關スル事項

五 第一號移民地ノ施設ニ關スル事項

六 第一號移民入植地ノ選定調査ニ關スル事項

七 其ノ他他科ノ主管ニ屬セザル朝鮮人移民ニ關スル事項